

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

==歌の逐語訳==

☆ヘブライ語 [マイムマイム](#) [ヘブライ語の有名な歌](#) [黄金のエルサレム](#) [ナオミの夢](#)

☆ロシア語 [黒い瞳](#) [カチューシャ](#) [ステンカ・ラージン](#)

☆サンスクリット語 [般若心経](#)

☆ラテン語 [神の御子は今宵しも\(アデステ・フィデレス\)](#)

☆ドイツ語 [野バラ](#) [ローレライ](#)

☆フランス語 [ドミニク](#)

☆英語 [クレメンタイン](#) [朝日楼\(朝日のあたる家\)](#)

☆スウェーデン語 [フリックナ・デ・スモー\(小さなお嬢さん\)](#)

☆中国語 [玫瑰花开了\(バラが咲いた\)](#)

☆日本語 [新撰組の唄\(TBS主題歌\)](#) [やりたいな\(学生歌\)](#)

---

### マイムマイム逐語訳

#### マイム・マイム(音楽)

##### (1)はじめに

「マイムマイム」はほとんど誰もが小学校の時に習う、日本人に最も知られたフォークダンスです。ですが、ここに入っている歌が分からない人が多く、昔は「マイマイ・デベソー」などと歌っていたなどと言う笑い話もあります。最近はこの辺についてもかなり知られてきて、本歌の正確な歌詞や、それがヘブライ語であって旧約聖書からの引用であることを正しく記述しているホームページもいくつか見えてきました。ここでは単に歌詞を丸暗記するだけではなく、この歌詞を通してヘブライ語についてかいま見てみることにしましょう。

##### (2)歌詞

まず歌詞とその訳及び引用元を書いておきます。

歌詞: "usha'avtem mayim besason mima'yney hayeshuah"

(カタカナで): ウシャアヴテム マイム ベサソン ミマアイネイ ハイエシュア

意味: そしてあなた方は救いの井戸から喜びをもって水をくむであろう。

引用元: 旧約聖書(ユダヤ教の聖書)イザヤ書12章3節。

イザヤ書のこの部分は、キリスト教にあっては余り引用されませんが、砂漠の地イスラエルに

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

於いては水のありがたさを表現した箇所として、キリスト教の場合よりも実感をもって受け取られています。

### (3)ヘブライ語について

ヘブライ語は英語等印欧語族と異なり、セメ・ハム語族セム語派に属する言語です。他のよく使われているセム語としてアラビア語があります。従って現在イスラエルとアラブは仲が良くないですが、元は兄弟の関係にあります。ヘブライ語もアラビア語も、英語と異なり右から左に書きます。アラビア語は基本的に「連続して」書きますが、ヘブライ語を記述するヘブライ文字はローマ字のように単語内でも区切って書きます。ヘブライ文字は特殊な字体です。次行にその例を示します(ブラウザによっては文字化けして見えません)。

הַיְּפוֹנִית רַק, סְלִיחוֹהָ, הַמְּכֻמָּנוּ אֶל הַבּא בְּרוּךְ

ヘブライ語のアルファベット(「アレフベート」と言います)は英語の26文字に対して22文字しか有りません。これは、ヘブライ語に於いては(アラビア語に於いても)母音は原則として表記されないためです。ですから例えば“t-n-ch”と表記されていれば「この場合は“tanach”だな」と文脈等から推測する必要があります。どうしても母音を示したい(例えば外人の名前など)時は、補助的な記号をつけて示します(日本語のルビのような物です)。

さて、どの国の言葉もそうであるように、ヘブライ語にも古典ヘブライ語(旧約聖書ヘブライ語)と現代ヘブライ語があります。ただ、ヘブライ語の場合、ユダヤ人が2000年に渡って散らされていたという歴史的事情から、現代ヘブライ語は古典ヘブライ語から人為的に作られた物であり、その差異は他言語ほど大きくありません。そして、マイムマイムの歌詞は古典ヘブライ語で書かれています。

### (4)歌詞解説

それではマイムマイムの歌詞を詳しく見てみましょう。

#### (4-1)“usha'avtem”

この単語の語幹は“sha'av”の部分です。これは動詞で「汲む」という意味です。一般にヘブライ語の動詞は3文字から成り、原型としての母音は“a-a”です。ですから、ヘブライ語でこの部分は、文字としては“sh-’-v”と記され、そこに母音を補って“sha'av”と読みます。この表記で“'”で表したのは、単独では音のない文字(従って母音のみになる)をローマ字表記した物です。

古典ヘブライ語には現代の西欧諸語にはないいくつかの特徴があります。まず「動詞の態」という概念です。先に動詞の語幹は“a-a”だと記しましたが、これは厳密には“pa'al”態と呼ばれる基本的な態の場合です。ヘブライ語にはこのほかに、“nif'al”態、“pi'el”態、“po'al”態、“hif'il”態、“hof'al”態、“hithpa'el”態と、都合7つの態があり、順に、「基本形」「その受身形」「強調形」「その受身形」「再帰形」「その受身形」そして「相互形」の態になります。ですから、“sha'av”が「汲む」であったのに対し、“nish'av”と書けばこれは「汲まれる」という意味になります。

す。

もう一つ重要な点として、古典ヘブライ語の場合(そして多くの古典語がそうなのですが)、「過去形—現在形—未来形」という時制の概念はありません。その代わりにあるのが、「完了体—未完了体」という2つの「体」です。ですから、未来のことであっても、文脈に於いて、その未来時点で完了していれば完了体、過去のことでもその過去の時点で完了していなければ未完了体を使います。ヘブライ語のこの性質は、旧約聖書で預言及びその実現を記述するのに有効に使われています。なお、現代ヘブライ語では完了体が過去形に、未完了体が未来形に、そして現在分詞が現在形に流用されています。

さて、以上ちょっと長くなりましたが、これらの知識を元にして元の歌詞に返ると、次に大切なのは“tem”の部分です。これは「あなた方は〇〇した(し終わっている)」と言う意味を示します。現代英語であれば“you (have) drawn”と単語を分けて書くところを古典ヘブライ語では接小辞を付加することにより1単語で表します。そして、未完了体なら語幹の先頭に、完了体なら語幹の後尾に小辞を付けます。ですから“sha'avtem”で、「あなた方は汲んだ」の意味になります。もし未完了体なら“tesh'av” (あなた方は汲むであろう)となります。

ここで変だと思いませんか?“sha'avtem”は完了体であるのに、先頭の訳では「汲むであろう」と未完了体で、預言として訳されています。これは古典ヘブライ語に特有の現象で、「連続のワウ」(Waw-consecutive)と呼ばれます。つまり、動詞の前に「ワウ」(この場合は「ウ」と発音し、「そして」の意味)が付くと、完了体と未完了体が交換して、完了体は未完了体に、未完了体は完了体になります。世って以上合わせて、“usha'avtem”は1語で、「そしてあなた方は汲むであろう」の意味になります。

### (4-2)“mayim”

これは普通名詞で「水」のことです。特に格変化等しておらず何も言うこともないのですが、一つ面白いのが、この単語がすぐ名詞でも形の上では「双数形」をしていることです。現代の主要言語で残存しているのはロシア語程度ですが、古典語の多くには「単数」と「複数」の他に「双数形」が存在していました。これは、手“yad-yadayim”とか足“regel-raglayim”とか眼“ain-einayim”とか、2つで一組になる物を表現する形で、ヘブライ語の場合複数単数は単数名詞の後に“im”(女性名詞に於いては“ot”)を付けるのですが、双数の場合には語尾に“ayim”を付けます。このような例として他には“shamayim”(天)が有ります。なぜこれらが双数形なのかは分かっていません。

### (4-3)“besason”

まず“be”ですが、これは「中に」という意味の前置詞です。ヘブライ語の場合前置詞もそれが前置する単語と一体化します。ヘブライ語にも名詞に不定形と定形の区別があり、英語では“the”を付けて区別するようにヘブライ語では“ha”を前置して定形であることを示しますが、これに更に前置詞が付きますと、“be-ha-sason”とはならず、“basason”となります(母音の

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

違いなので表記上は違わない)。この歌詞では“besason”となっているので不定形です。

次に“sason”ですが、これは「喜び」という意味の普通名詞です。そしてこの名詞は「喜ぶ」という動詞“sas”の名詞形です。ここで変だと思いませんか。先に、「ヘブライ語の動詞は3つの子音からなる」と説明したはずですが、“sas”は子音が2つしかありません。これは、この動詞の不定形が実は“s-y-s”なのですが、これは“ayin-yod”型の動詞であるため不規則変化をして、語幹(今まで語幹と表現してきましたが、より正確には3人称男性単数完了体のことで、これが実用上単語の基本になります。不定形は“le-siyis”のように分子として用いられるときのみ現れます)が“sas”という「短縮形」となるのです。ヘブライ語にはこのような不規則変化のパターンが十数個有りますが、いずれも発音の便宜上生じた物で、「不規則の中にも規則あり」と言ったところで、覚えるのにさほどの苦労はありません。

### (4-4)“mima'yney”

この後の中心部は“may'an”で、これは「泉」という意味の普通名詞です。ただ、この語は男性名詞であるにもかかわらず、複数形は“ma'yanot”と女性形に変化する珍しい単語です。同様に“yonah-yonim”(鳩)のように女性名詞(“ah”で終わる名詞はたいてい女性名詞)であるにもかかわらず男性名詞型の複数形を取る名詞もあります。で、ここでも“ma'yan”(泉)は複数なので、後に“hayeshuah”という修飾句が付かなければ“mima'yanot”となったところなのですが、この修飾句のために「弱形」と言われる複数形の変化をして、結局“ma'yiney”という本来男性名詞型の弱形複数となりました。

この前に付いている“mi”ですが、これは「～から」という意味の前置詞で、先の“be”と同様に名詞に膠着します。

### (4-4)“hayeshuah”

ここで“yeshuah”は「救い」という意味の普通名詞です。イエス(キリスト)のヘブライ語本来の名前も“yeshuah”です。その前に付いた“ha”は、先にも説明したように定冠詞です。ここでヘブライ語が他の言語と異なるところは、多くの場合は修飾句を連結した場合修飾句の方が付随的な位置づけとなって格変化をするのに対し、ヘブライ語では修飾される名詞の方が付随的となって弱形に変化するところです。したがってこの場合の“ha”は“of the”という感じになります。

### (5)まとめ

以上でマイムマイムを例としたヘブライ語入門講座を終わります。その一端を覗いていたき感謝です。これをきっかけとして興味を持たれた方は、小久保ソロモン先生に問い合わせてみてください。(終わり)

### 歌で入るヘブライ語:逐語訳

ここでは、マイムマイムに次いで日本でも比較的良く知られている歌を通じて、引き続きヘブライ語の諸相を見ていくことにします。

#### (1)ハバ・ナギラ

##### ハバ・ナギラ(音楽)

##### (1-1)基本的事項

歌詞: "Hava nagila venismecha, hava neranena venismeha, ulu achim belev sameach"

(カタカナで): ハバ ナギラ ベニスメハ、 ハバ ネラネナ ベニスメハ、 ウル アヒーム ベレブ サメアツハ

訳: さあ、喜ぼう。立て、兄弟よ、心から喜びなさい。

##### (1-2)歌詞解説

"hava"、これは「さあ〇〇しよう」という意味の感嘆詞(かけ声)です。引き続き動詞が来ます。"nagila"、この動詞の語根は"g-y-l"で、この動詞は"ain-yod"という形なのでやや特殊な変化をして hif'il 形が、"hegil"となります。これは「彼は大いに喜んだ」という意味になります。これを"nun"を接頭して"nagil"とすれば、「私たちは喜ぶであろう」という意味になります。よって"have nagila"で「さあ、大いに喜ぼう！」という意味になります。"nagila"の最後の"a"は音韻を揃えるための接尾辞で、より感情的な感じが出ます。

次に、"nismecha"ですがこの語根は"s-m-ch"で、やはり「喜ぶ」という意味です。"pa'al"体だと母音は"a-a"なので"samach"となり、「彼は喜んだ」の意味になります。これが"nismach"と"ni"が付くと「私たちは喜ぶであろう」という意味になり、"hava nismecha"で「さあ、喜ぼう」という意味になります。"nismecha"の前の"ve"はマイムマイムの時の最初の"u"と同じ"waw"という文字で、普通は"ve"と読むのですが、"sh"の前では"u"と発音します。

続いて"neranena"ですが、この語の語根は"r-n-n"です。原型は"ron"（彼は喜んだ）という特殊な変化をしますが、「私たちは喜ぶであろう」は通常に"ne"を接頭して"neranen"となります。そして"hava neranera"でこれまた「さあ喜ぼう」あるいは「さあ、喜びの声を上げよう」という意味になります。ヘブライ語には先のマイムマイムの"s-y-s""sason"と言い、ハバナギラの今までに出てきた3つの単語と言い、「喜ぶ」と訳せる単語が多くあります。

その次に"ulu"ですが、この語根は"l-h"です。この語は「起きる」「立ち上がる」という意味

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

の頻出語ですが、“pe-ayin”“lamed-he”と二重に特殊な動詞です。ヘブライ語に於いて命令形は、二人称複数未完了体から接頭辞を覗いて作るのですが、この語の場合該当する語が“taulu”(あなた方は立つであろう)なので、命令形は“ulu”となり、「立ち上がれ!」の意味になります。その次の“achim”は「兄弟」「同胞」を意味する“ach”の複数形で「同胞達よ」の意味になります。

最後の“sameach”ですが、これは先に説明した動詞“s-m-ch”の命令形です。命令形の作り方は直前に記したとおりですが、この動詞は“lamed-chet”という特殊な動詞なので、最後の部分が“sameach”と“-ach”と言う形の終わり方をします。「喜ばなさい」という命令語です。その前の“belev”の“be”は「中に」という意味の前置詞、“lev”は「心」の意味の普通名詞です。

歌詞の説明は以上です。実際の歌は同じフレーズが何度も繰り返しますが、これはアシュケナージ系(東欧系)ユダヤ人の宗教的一派である「ハシディーム」(敬虔なる人々)の「シムハット・トーラー」(「律法の喜び」と言う意味で、歌い踊りつつ神を賛美する)の影響が見て取れます。

### (2)ヒネ・マ・トブ

#### ヒネ・マ・トブ(音楽)

##### (2-1)基本的事項

歌詞: Hineh mah tov umah naim shevet achim gam yachad

カタカナで: ヒネ マ トブ ウマ ナイム シェベト アヒム ガム ヤハド

訳: 見よ、兄弟達が一同に座していることは何とすばらしく美しいことか。

引用: 旧約聖書 詩編133章

##### (2-2)歌詞の説明

“hineh”、これは「見よ」「ほら」「ここに」と言った意味の感嘆詞です。“ma”これは「何」という疑問詞ですが、ここでは「何と」という意味の感動詞として使われています。“tov”「良い」という意味の形容詞です。創世記最初の「神は良しとされた」の所でも使われています。“u”先の歌でも説明したように「そして」の意味です。“nayim”「和んでいる」という意味の形容詞です。

“shevet”「座している」と言う意味の副詞です。休日と訳される“shavat”と同語源です。“achim”上の歌でも説明しましたが、「兄弟達」という意味の名詞です。旧約聖書ヘブライ語は単語が1万強しかなく、同じ単語がしばしば出てきます。“gam”「ことさらに」と言った感じの強調句です。“yachad”「一緒に」という意味の副詞です。ヘブライ語で数字の1を“echad”と言いますが、これと同語源です。

וַיִּשְׁבְּתוּ יְהוֹדָה וְיִשְׁשַׁכָּר וְיִזְחָר וְיִזְחָר וְיִזְחָר וְיִזְחָר וְיִזְחָר וְיִזְחָר וְיִזְחָר וְיִזְחָר

### (3)ハバ・ナリマ

#### ハバ・ナリマ(音楽)



## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

### (3-1)基本的事項

歌詞:HAVA NARIMA NES VA'AVKA, YAHAD PO NASHIRA SHIR HAHANUKA.

MAKABIM ANACHNU DIGLENU RAM NACHON, VA'IVANIM NILCHMNU VELANU  
HANITSACHON.

PERACH EL PERACH ZER GADOL NISHZOR, LEROSH HAMNATSEACH MAKABI GIBOR.

カタカナで:ハバ ナリマ ネス バアブカ、ヤハド ポ ナシラ シル ハハヌカ

マカビム アナフヌー ディグレヌー ラム ナホーン、バイバニム ニルハムヌー ベラヌ ハ  
ニツアホン

ペラフ エル ペラフ ゼル ガドール ニシュゾル、レロシュ ハムナツエハ マカビ ギボー  
ル

訳:

- 1、さあ、ハヌカの松明を高く掲げよう。ここで一緒にハヌカの歌を歌おう。
- 2、我々はマカビだ、我々の旗はもちろん高い。贖罪の日に私たちは戦って、戦いに勝利した。
- 3、花から花へと大きな花輪を織りましょう。それを勝利者である偉大なマカビの頭に掲げる。

### (3-2)歌詞の説明

この歌は、歌詞は余り知られていないかも知れませんが、体育大会などで優勝者をたたえるために良くなるメロディーです。

“hava”最初の歌でも説明しましたが、「さあ〇〇しよう」という意味です。“narima”語根は“r-v-m”の動詞で、「挙げる」という意味です。“ayin-waw”という特殊な動詞のため、hif'il 形は“harim”(彼は高く挙げた)となり、“narim”で「私たちは高く挙げるだろう」の意味になり、“have narima”で「さあ高く挙げよう」となります。この動詞から派生した形容詞が“ram”で、アブラハムの元の名前である“abram”は「高い父」の意味です。“hanuka”とはユダヤ人の故事であり祭りです。かつて、対ローマのユダヤ独立戦争の際に、マカベのユダがろうそくを何回ともしても消えなかったという故事から、民族独立、神の奇跡の象徴となっています。“nes”「奇跡」の意味の普通名詞です。“avka”「松明」名詞。

“yachad”先の歌にも出てきましたが、「一緒に」という意味です。“po”「ここで」の意味の副詞です。“nashira”語根が“sh-y-r”の動詞で「歌う」という意味です。“ayin-yod”型の格変化をします。“nashir”で、「私たちは歌うだろう」の意味になります。“shir”直前の動詞から派生した名詞で「歌」の意味です。

“Makabim”「マカベー族」“Makabe”の複数。“anachnu”「我々は」代名詞複数一人称主格。“diglenu”<“degel”「旗」で、「我々の旗」。“ram”「高い」。“nachon”「もちろん」間投詞。“va”「そして」接続詞。“ivanim”「贖罪の日」ユダヤの大きな祭り。“nilchamnu”“l-ch-m”を語幹とする

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

動詞の hifiru 型の“nilcham”から「私たちは戦った」一人称複数完了態。“ve”「そして」。“lanu”「私たちに」。“ha”定冠詞。“nitsachon”「勝利」。

“perach”「花」。“el”「～へ」前置詞。“zer”「花輪」。“gadol”「大きい」。“nishzor”“sh-z-r”を語幹とする動詞で hifil 型の“hishzzil”より「我々は織る」一人称複数未完了態。“le”「～へ」“el”と同じ。“rosh”「頭」厳密には弱形。“ha”定冠詞。“mnatseach”「勝利者」2番の“nitsachon”と同語根。“Makabi”「マカベ」英雄の名字。“gibor”「偉大な」。

וואבוקה נס נרימה הבה  
..החנוכה - שיר נשירה פה יחד  
נכון, רם דגלנו, אנחנו מכבים  
הניצחון ולנו נלחמנו ביוונים  
,נשזור גדול זר פרץ אל פרץ  
גיבור מכבי, המנצח לראש

### (4)オセー・シャローム

#### オセー・シャローム(音楽)

##### (4-1)基本的事項

歌詞: OSEH SHALOM BIMROMAV HUH YAHSEH SHALOM ALEINU VEAL KOL ISRAEL  
VEYIMRU AMEN

カタカナで: オセー シャローム ビムロマーヴ フー ヤーセー シャローム アレイヌー ヴェ  
アル コル イスラエル ヴェイムルー アーメン

訳: いと高きところで平和を司るお方が、私たちそして全イスラエルに平和をもたらし、そして  
アーメン(その通り)と言う。

##### (4-2)歌詞の説明

この歌はイスラエルの伝統的な祈祷の文句に楽譜がついたものです。この祈祷はユダヤ人の生活のあらゆる場面で唱えられます(結婚式でも葬式でも)。

“oseh”「する」「行う」といった意味の最も基本的な動詞である”’-s-h”を語幹とする動詞の現在分詞形ですが、この文脈ではさらに進んで、「～を行う者」という意味になります。“shalom”「平和」という意味の名詞です。英語の“hello”のように、挨拶としても頻繁に使われます。“bi”「～の中に」なる意味の前置詞です。“mromav”語幹は“marom”これは「高い」という意味の形容詞”ram”から派生した名詞で、「高いところ」と言った意味です。この語に前から”bi”、後ろから”av”（「彼の」という意味の接尾辞で、この場合の彼とは”oseh”のことだが、あまり深い意味はない）が膠着しています。“huh”「彼が」という意味の代名詞です。“yahseh”これは冒頭の”oseh”と同語根ですが、「彼が行うであろう」という意味の、3 人称未完了体に



## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

格変化しています。”aleinu”これは”al”「～の上に」という意味の前置詞の変化形で、「私たちの上に」の意味になります。”veal”「そして～の上に」の意味になります。”kol”「すべての」の意味。”israel”イスラエル民族のこと。”ve”「そして」。”imru”これは「言う」という意味の動詞である”`-m-r”の完了体です。ただし、“ve”に膠着しているので、古典ヘブライ語特有の「体の反転」(Waw-consecutive)により、ここでは未完了体と解釈します。”amen”「その通り」と言った感じの副詞で、「信じる」という意味の動詞”`-m-n”からの派生語です。

### (5)ヘベヌー・シャローム

ヘベヌー・シャローム (音楽)

#### (5-1)基本的事項

歌詞: HEVENU SHALOM ALEICHEM

カタカナで: ヘベヌー・シャローム・アレイヘム

訳: われらは平和をもたらした。

#### (5-2)歌詞の説明

“hevenu”これは「もたらす」という意味の動詞”h-v-v”の一人称複数完了体で、「われらはもたらした」の意味です。”shalom”はこの場合「平和」の意味です。”aleichem”は「～の上に」を意味する”al”の変化形で「あなた方の上に」という意味です。

### (6)シャローム・ハヴェリーム

シャローム・ハヴェリーム (音楽)

#### (6-1)基本的事項

歌詞: SHALOM CHAVERIM LEHITRAOT

カタカナで: シャローム ハヴェリーム レヒトラオト

訳: さようなら、友達よ、また会う日まで。

#### (6-2)歌詞の説明

“shalom”先にも説明したように、あらゆる挨拶に使われますが、この文脈では「さようなら」の意味です。”haverim”これは「人」「友人」を意味する”hever”の複数形です。”lehitraot”「また会う日まで」「さようなら」という意味の挨拶の言葉です。これ一語で挨拶として使いますが、分解して説明しますと、“le”は「～まで」という意味の前置詞、“hitraot”は語根が”r-a-h”で「見る」「会う」という意味の動詞で、ヘブライ語の場合動詞には7つの形(通常形、その受身、強調形、その受身、再帰形、その受身、相互形)がありますが、“r-a-h”の相互形は”hitraah”となり、これは「互いに会う」の意味、そしてこれを名詞化すると”hitraot”となります。

### 黄金のエルサレム逐語訳

引き続きもっと最近に作られた、より複雑な歌について見てみましょう。今回説明する「黄金のエルサレム」は、イスラエルの天才的作詞・作曲家であるナオミ・シェメルが作った歌で、結果的に第3次中東戦争によるエルサレム奪還を預言した歌で、今はエルサレム市歌となっています。日本でもたまにメロディーがBGMとして流されることがありますが、詩、歌共に世界の一級品です。

#### 黄金のエルサレム (音楽)

##### (1)歌詞

1, avir harim tzalul kayain, vereiach oranim  
nisa'a bereach haarubaim im kol pa'amonim.  
ubetaldemat ilan vaeben, shvyah bachaloma,  
hair asher badad yoshevet, ubeliva homa.

(refrain) yerushalayim shel zahav, veshel nechoshet veshel or,  
halo lechol shiraich ani kinor.

2. eihah yavshu borot-hamayim, kitar hashuk reikah  
ve' ein pokedet ether-habait, ba' ir haatika.  
ubamearot ashelba sera, meyalotruchoth  
ve' ein yored el yam-hamelach bererech yericho.

(refrain)

3. achbevoi hayom lashir lach, velach kikshor kutarim  
katonti mits' ir banaich, umeacharon hameshorerim.  
ki shmech tsorevet ethashfatayim, kinishikattsarach  
im eshkachech Yeryshalayim asher kula zahav.

(refrain)

4. chazarnu el borot hamayim, lashuk velakikar,

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

shofar kore behar-habait ba'ir haatika.  
uvamearot asher basera, alfei shemashot zochrot  
nashuv nered el yam-hamelach be derech yareicho.  
(refrain)

カタカナで:

1番

アビル ハリム ツアルル カヤイン ベレイアツハ オラニム  
ニサー ベルアツハ ハアルバイム イム コル パアモニム  
ウベタルデマト イラン バエーベン シュブヤ バハロマー  
ハイル アシエル バダッド ヨシェベツ ウベリバ ホマー

(繰り返し) イエルシャライム シエル ザハブ ベシエル ネホシエツ ベシエル オル  
ハロ レホール シーライフ アニ キノール。

2. エイハー ヤブシュー ボロート ハマイム キカル ハシューク レイカー  
ヴェエイン ポケデツ エツ ハル・ハバイツ バイル・ハアティカー  
ウバメアロート アシエル バセラ メヤレロート ルホート  
ヴェエイン ヨレド エル ヤム・ハメラフ ベデレフ イェリホー  
(繰り返し)

3. アフ ベボイ ハヨム ラシール ラフ ヴェラフ リクシオール クタリーム  
カトンティ ミツイール バナイフ ウメアハロン ハムシヨレリム  
キ シュメフ ツォレーブ エツ ハシュファタイム キヌシカッタ サラーフ  
イム エシュカヘフ イエルシャライム アシエル クラ ザハブ  
(繰り返し)

4. ハザルヌー エル ボロート ハマイム ラシューク ウラキカル  
シヨファール コレ ベハル ハバイツ バイル ハアティカ  
ウバメロート アシエル バセラ アルフェイ シュマショート ゴフロート  
ナシューブ ネレド エル ヤム ハメラフ ベデレフ イェリホー  
(繰り返し)

訳:

1番

山々の風はワインのように冷やかで、松のにおいが

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

夕方の風に乗って太鼓の音と共に漂っていく。  
そして木も石もまどろんで夢の中に休むとき、  
ただ一人立つこの町は城壁の中にある。  
(繰り返し)黄金のエルサレムよ、そして銅と光の町よ、  
貴方にとって私は豎琴でありたい。

### 2番

水ためはどこへ行ったのか、市場は廃墟のようだ。  
そして誰も古代の都市エルサレムにある神殿を散策しようとしな(できない)  
岩山の洞窟では風がうなりを揚げ(るだけ)、  
そしてジェリコを通して死海に下る者は誰も居ない。

### 3番

ああ、あなた(エルサレム)の歌を歌う日が来たときに、そしてあなたに王冠をかぶせるときに、  
私はあなたの子供の中でもっとも若い者よりも小さくなり、あなたの歌い手たちの最後尾につ  
きたい。  
さもなくば、あなたの名前が、天使の口付けで私の唇を焼き尽くしてしまう  
もし私が、全てが金のあなた、エルサレムを忘れることがあるとしたら。

### 4番

我々は水ためへ、そして市場に、野原に帰ってきた  
つのぶえは神殿の丘に、古代の町(エルサレム)に、響き渡る。  
そして岩山の洞窟には、何千もの太陽が昇り輝き、  
私たちはジェリコの道を通して、死海へと戻り下っていく。

## (2)歌詞の解説

### 1番

"avir"「空気」の意味の名詞。"harim","har"(山)の複数形。"tsalul"「冷やっこい」という意味の形容詞。"yain"「ワイン」の意味の名詞。"ka"「～のように」を表す"ke"に定冠詞の"ha"が合体した語。"ve"「そして」の意味の接続詞。"reiach"「香り」の意味の名詞。"oranim","oran"「松の木」の複数形。

"nisa'a"、語幹は"n-s-"で"pa'al"態だと「(乗り物で)行く」という意味の動詞この動詞は"pe-nun"という不規則変化をするため、"hi'il"態は"nisa'a"で、「漂っていった」の意味になる。"be"「～の中に」の意味の前置詞。"ruach"「風」の意味の名詞。"ha"定冠詞。"arbaim","erev"「夕方」の複数形。"im"「～と一緒に」という意味の前置詞。"kol"「声」「音」の意味の名詞。"paamonim","paamon"「太鼓(の音)」の複数形。

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

“u”「そして」の意味の接続詞。“be”「中に」の意味の前置詞。“tardemat”、“tardamah”「まどろみ」を意味する女性名詞の弱形。“ilan”「木」の意味の名詞。“va”「そしてをあらわす接続詞」“ve”に定冠詞“ha”が一体化した形。“eben”「石」の意味の名詞。“shvyah”「囚われている」という意味の副詞。“shavat”と同語源。“ba”「そのなかに」の意味の前置詞。“chalomah”、“chalom”「夢」の意味の名詞の女性形。

“ha”定冠詞。“ir”「町」の意味の名詞、“hair”はこの場合エルサレムのことを指す。“asher”関係代名詞。“badad”「一人で」の意味の副詞。“yoshevet”、「休む」の意味の動詞“y-sh-v”の現在分詞女性形。“u”「そして」。“be”「中に」。“livah”「心」「心臓」を意味する名詞“lev”の女性形。“homa”「城壁」の意味の名詞。

繰り返し

“yerushalayim”{エルサレム}。“shel”「～の」の意味の接続詞。“zahav”「金」の意味の名詞。“ve”「そして」。“nechoshet”「銅」の意味の名詞。“or”「光」の意味の名詞。

“ha”疑問詞だが、ここでは反語表現。“lo”「～でない」の意味の助詞。“le”「～にとって」の意味の前置詞。“chol”、“kol”「全ての」の意味の形容詞が、“le”と膠着して頭音が弱化したもの。先に出てきた“kol”(声)とはヘブライ語の綴りが異なる。“shiraich”、“shir”「歌」の意味の名詞の複数形の格変化形で、「あなた(エルサレム)の歌達」の意味。“ani”「私」の意味の代名詞。“kinor”「竖琴」の意味の名詞。聖書ではダビデが好んで用いた。

2番

“eicha”「どこへ」の意味の疑問詞。“yavshu”「去る」の意味の動詞“y-v-sh”(pe-yod)の過去形三人称複数。“borot”“bor”「水溜り」と言う名詞の複数形。“ha”定冠詞。ヘブライ語の場合、修飾子の方に定冠詞がつく。“mayim”「水」、”bor-mayim”で「貯水槽」の意味。“ki”「～のような」と言う意味の前置詞。“kar”「場所、場」といった意味の名詞。“shuk”「市場」(スーク)の意味の名詞。“reika”「空っぽの」と言う形容詞“reik”の女性形。

“ve”「そして」。“ein”「誰も～でない」と言う意味の否定代名詞。“poked”「歩く」「散歩する」と言う意味の動詞“p-k-d”の現在形。“et”「～を」の意味の前置詞。“har-habait”直訳すれば「山の家」となるが、ここでは「神殿」のこと。“ba”「～の中に」と言う意味の前置詞。“ir”「町」「都市」名詞。“ha”定冠詞。“atika”「古代の」という形容詞“atik”の女性形。“ir haatika”は「あの古代の都市」となるが、エルサレムを指す。

“u”「そして」。“ba”「～の中で」。“meerot”「洞穴」の意味の名詞“meara”の複数形。“asher”「～ところの」関係代名詞。“sera”「岩」「岩山」の意味の名詞。“meiyalelot”「上がる」の意味の動詞“y-l-l”(pe-yod)の現在複数女性形。“ruchot”「風」の意味の名詞“ruach”の複数形。

“yored”「下る」の意味の動詞“y-r-d”(pe-yod)の現在形。“yam”「海」の意味の名詞。“melach”「塩」の意味の名詞。“yam-hamelach”で「死海」のこと。“derech”「道」の意味の名詞。“yericho”「ジェリコ」イスラエルの都市名。

3番

“ach”「ああ」と言う感動詞。“be”この場合は「～の時には」と言った感じの前置詞。“boi”「来る」という意味の動詞“b-o-”の女性現在分詞形。“la”「～のために」と言った意味の前置詞。“shir”「歌」の意味の名詞。“lach”「あなた(女性単数)に」の意味、この場合の「あなた」とはエルサレムのこと。“li”「のために」、次に現在分詞が来る前置詞。“kshor”「結ぶ」「つける」と言った意味の動詞“k-sh-r”の現在分詞。“ktarim”「王冠」「花輪」の意味の名詞“keter”の複数形。

“katonti”「小さくする」の意味の動詞“k-t-n”の一人称単数完了体、ただしこの文脈では形容詞句として読む。“mi”「～よりも」の意味の前置詞。“tsir”若い人の意味の名詞“tsair”の弱形(後ろから“banaich”が修飾するため)。“banaich”「息子」を意味する“ben”の複数一人称女性形で、「あなた(エルサレム)の息子たち」の意味。“u”「そして」、接続詞。“me”「～よりも」、前置詞。“acharon”「～の後に」の意味の名詞。“ha”定冠詞。“meshorerim”「歌う」の意味の動詞“sh-y-r”からできた名詞“shorer”「歌い手」の複数形。

“ki”「なぜなら」の意味の接続詞。“shmech”「名前」“shem”の女性形で、「あなた(エルサレム)の名前」の意味。“tsorev”「焼く」の意味の動詞“ts-r-v”の現在形。“et”「～を」、前置詞。“ha”定冠詞。“sfatayim”「唇」の意味の“sefah”の双数形(二つ一組)。“ki”「～時に」、前置詞。“neshikat”「口づけ」の意味の“neshikah”の弱形。“saraf”「天使」の意味の名詞。複数「セラフィム」。なお、“kerub”も「天使」であるが、“seraf”の原意は「焼き尽くす者」。

“im”「もしも」、接続詞。“eshkachech”「忘れる」の意味の動詞“sh-k-ch”の1人称単数形“eshkach”に目的辞の“ech”「あなた(女性形、エルサレムのこと)を」が膠着した形。“yerushalayim”エルサレム。“asher”関係代名詞。“kula”「全ての」を意味する“kol”の女性形。“zahav”「金」「金色」、名詞。

4番

4番は、1番から3番への返礼となっており、重複する語が多いので、重複しない語のみ解説します。

“chazarnu”「戻ってくる」の意味の動詞“ch-z-r”の複数一人称完了形。“shofar”「角笛(つのぶえ)」。“koreh”「呼ぶ」「読む」の意味の動詞“k-r-h”の現在形。なお、この語はアラビアの「コーラン」(クルアーン)と同根。“alfei”「千」の意味の“elef”の双数形。“shemachot”「太陽」の意味の“shemesh”の複数形。“zorchot”「輝く」の意味の動詞“z-r-ch”の現在形複数。“nashuv”「戻る」の意味の動詞“sh-u-v”の一人称複数未完了体。“nered”「下る」の意味の動詞“y-r-d”(pe-yod)の一人称複数未完了体。

(3)その他 この歌の1番から3番は「六日戦争」の直前に作られ、戦争でエルサレムを奪



## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

還してから新たに4番が作られました。なお、歌詞は2行ずつ韻を踏んでおります。(終わり)

PS. ナオミ・シェメルさんは2004年6月26日に74歳の生涯を閉じられました。哀悼。

---

### ナオミの夢逐語訳

更に最近の歌(と言っても1世代前ですが)として、「ナオミの夢」の歌詞を見てみましょう。この曲は日本のみで大ヒットしました。日本語の歌詞は片桐和子さんが付けましたが、雰囲気はあって居ます。また“naomi”というのはイスラエルでも一般的な女性名で、原意は「和み」(“na'am”の女性形でルツ記にも出てくる)です。

#### ナオミの夢(音楽)

##### (1)歌詞

1, klei neshifa umitarim sovevim bachalomi, sharim shirei tehila lach,  
ken shirei tehila Naomi, Naomi ani shelach.

2, Uberchov haramzorim, kol hazman rak adomim. kol hatanua machika lach.  
papam papam rak lach Naomi, kol hair hazot shelach

(refrain)chaki imdi od rega kat Naomi, rak bachalom at po iti,  
uchshe haboker yaaleh Naomi, ihye kan levadi.

3, bachalomi kol haolam mezamer lach binkomi, harim rokdim kavnei tson,  
zagegiyut hameter Naomi, manignot michol chalon

4, uvmerchov roshi gevaot bechedvah meadomim, sheat mitsveh mulam,  
mechol ever dumamah Naomi, mishtatek kol haolam.

5, Ani cholem al Naomi, Naomi al tialmi, hish'eri po imi,  
kan betoch hachalom Naomi, Naomi at chalomi.

##### (2)カタカナで:

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

1、クレイ ネシファ ウミタリム ソベビム バハロミ、シャリム シレイ テヒラー ラク  
ケン シレイ テヒラ ナオミ、ナオミ アニ シェラク

2、ウブルホブ ハラムゾリム コル ハズマン ラク アドミム コル ハタヌア マヒカ ラフ  
パパム パパム ラック ラッフ ナオミ、コル ハイル ハゾット シェラフ

(繰り返し)、ハキ イムディ オッド レガ カット ナオミ、ラック バハロム アト ポ イティ  
ウフシェ ハボケル ヤアレ ナオミ、イフイエ カン レバティ

3、バハロミ コル ハオラム メザメル ラク ビムコミ ハリム ロクディム ケブネイ ツオン、  
ザグギユト ハメテル ナオミ マニグノト ミホル ハロン

4、ウブメルホブ ロシ ゲバオト ベヘドバ メアドミム シェアト ミツベ ムラム、  
ミホル ニベル ドウママ ナオミ、ミシュタテク コル ハオラム

5、アニー ホレム アル ナオミ、ナオミ アル ティアルミ、ヒシュエリ ポ イティ  
カン ベトフ ハハロム ナオミ、ナオミ アト ハロミ

(歌詞は韻を踏んでいます)

(3)訳: 1、管楽器と打楽器が私の周りを回っている、栄光の歌を貴方に歌いながら、  
そうさ、栄光の歌だナオミ、ナオミよ私はおまえのもの。

2、そして通りの信号は、いつも赤なんだよ、交通の全てがあなたを待っている。  
ブーブー(クラクソン) ただあなたのためにある、ナオミ、この街全部があなたのものさ。

(繰り返し)もう少し私を待ってくれナオミ、夢の中で貴方が私とここにいたように、  
そして夜が明ける時にはナオミ、私はここで独りぼっちだ。

3、夢の中で全世界が私の代りにあなたに歌を歌う、山々は羊の群れのように踊っている  
そして1メートル先のガラス板も、すべての窓から歌い喜んでいる。

4、そして広場で山々の頂上に、あなたが向かって立つときに真っ赤になる、  
すべての側面が黙り込みナオミ、全ての世界が静寂になるのだ。

5、私はナオミを夢見る、ナオミよあなたは消えないでくれ、

ここ私の夢の真ただ中でナオミ、あなたはまさに私の夢だ。

#### (4)歌詞の意味

"klei"、"kli"「道具」の複数弱形。"neshifa"、"neshef"「息」の意味の名詞の女性形。"u"「そして」。"metolim"「打楽器」の意味。"sovevim"、"s-v-v"「回る」という意味の動詞の現在形複数。"ba"「その中に」。"chalomi"、"chalom"「夢」という意味の名詞の派生形で、「私の夢」の意味。"sharim"、"sh-y-r"「歌う」という"ayin-yod"型動詞の現在複数形。"shirei"先の動詞の派生名詞"shir"「歌」の複数弱形。"tehila"「栄光」の意味の名詞。"la"「あなたに」の意味。

"ken"「はい」の意味だが、この場合は「そうさ！」と言った意味のかけ声。"ani"「私」。  
"shelach"、"shel"「～のもの」の派生形で、この場合は「あなた(女性形)の物」の意味。

"u"「そして」。"ve"「～の中で」の"ba"の弱形。"rechov"「通り」の意味の名詞。"ha"定冠詞。"ramzor"「交通」。"kol"「全ての」。"zeman"「時間」。"rak"「単に」。"adomim"「赤い」の意味の形容詞"adom"の複数形。"tenua"「交通」。"mechikah"次の節に出てくる動詞"chiki"の現在形。"ir"「町」。"zot"「それ」の意味の代名詞。

"haki"語幹が"n-ch-h"で"pe-nun"及び"lamed-he"型の変化をする「待つ」という意味の動詞の"hi'fil"型の女性命令形。"iti"、"et"「～を」の派生形で「私を」の意味。"od"「ちよつと」と言った意味の副詞。"rega"「(短い)時間」の意味の名詞。"kat"、"katan"「小さい」「短い」の意味の形容詞の短縮形。"rak"「単に」「ちよつと」という意味の副詞。"ba"「～の中で」の意味の前置詞。"chalom"「夢」。"po"「ここに」という意味の副詞。"iti"「私の方へ」。

"kshe"、"kaashel"の略で、「～のように」「～の時に」の意味の関係代名詞。"ha"定冠詞。  
"boker"「朝」の意味の名詞。"yaale"語幹が"l-h"で、"pe-yod"及び"lamed-he"型の格変化をする「行く」「登る」という意味の動詞の未来形三人称。"ihye"「～である」という意味の動詞"hayah"の未来形、「エホバ」「ヤーウエ」もこの動詞の派生語。"at"「あなた」の意味の女性形代名詞。"lebadit"「独りぼっちの」の意味の副詞。

"mezamer"「歌うの意味の動詞」"zamar"の現在形。"bimkomi"場所の意味の"makom"からの派生語で、「私の代りに」。"harim"山の意味の名詞"har"の複数形。"rokdin"「踊る」の意味の動詞"rakad"の現在形複数。"ka"「～のように」の意味の前置詞。"vnei"「息子」の意味の"ben"の複数弱形。"tson"「(羊の)群れ」。"zagegiyut"「ガラス板」の意味の"zagegit"の複数形。"meter"「メートル」。"menignot"「奏でる」「遊ぶ」の意味の動詞"negen"の現在形女性複数。"mi"「～から」の意味の副詞。"chalon"「窓」。

"merchav"「広場」。"roshi"「頭」の意味の名詞"rosh"の複数弱形。"gevao"「山脈」「丘」。  
"chedvah"「喜び」の意味の名詞で歌手のヘドバさんの名前の元。"ksheat" "kshe+at"。  
"nitsvet"「立つ」という意味の動詞"netsev"の女性形。"mulam"「反対側に」「～に向かって」の意味の"mul"の変化形で「彼に向って」。"ever"「側面」「サイド」。"demamah"「黙る」と言う"ain-lamed"型の動詞"d-m-m"の派生形容詞。"mishtatek"「静寂な」の意味の形容詞"shatek"の派生形。

### 黒い瞳:逐語訳

#### (1)歌詞

Ochi chyornie, ochi strasnie, ochi dzguchie ii prekrasnie!

Kak lyublyu ya vas, kak boyusiya vas, znati, uvidel vas ya ne v doblii chas!

カタカナで

オチ チョールニエ オチ ストラスニエ オチ ジェグチエ イ プリクラスニエ

カク リュブリュー ヤー バス カク ボユシヤ バス ウビーデル バス ヤー ニエー ヴ  
ド  
ブリー チャス

#### (2)訳

黒い瞳、熱い瞳、燃えるようなそしてとても美しい瞳！

私はあなたをこんなに愛している、こんなに心配している、私はまだこんな素晴らしい時を経験したことがない。

#### (3)歌詞の解説

“ochi”「眼」の意味の名詞“oko”(オーカ)の複数形(不規則変化)。“chyornie”「黒い」の意味の形容詞“chyornii”の複数形。“strasnie”「情熱的な」の意味の形容詞“strastnii”の複数形。“dzguchie”「燃えるような」の意味の形容詞“dzguchii”(ジグーチ)の複数形。“i”「そして」。“prekrasnie”「非常に美しい」の意味の形容詞“prekrasnii”の複数形。そもそも“krasnii”が「美しい」の意味で、“pre”(プリ)は「非常に」の意味の接頭辞。“kak”「このように」。“lyublyu”「愛している」の意味の動詞“lyubiti”の一人称現在形(不規則変化)。“ya”「私が」、一人称主格。詩であるため、主語が述語の後に来ている。“vas”「君」{親しい相手}の意味の人称代名詞“vi”の対格で、「あなたを」の意味。“boyosi”「心配する」の意味の動詞“boyatisya”の一人称現在形[不規則変化]。“znati”「知る」という意味の動詞として多用されるが、ここでは「おそらく」という意味。“uvidel”「気づく」という意味の動詞“bideti”の完了体動詞“uvideti”の過去形。“ne”「～でない」、否定の助詞。“v”「～に」「～の中に」の意味の前置詞。“dobrii”「素晴らしい」「良い」の意味の形容詞男性形。“chas”「時」という意味の名詞。

### カチューシャ: 逐語訳

#### 1 番

##### (1), 歌詞

Rastsvetali yabloni i gryshi, poplili tumani nad rekoi,  
Vichodila na bereg Kachusha, na visokii bureg na krutoi.

##### カタカナで

ラスツベターリ ヤーブラニ イ グルーシ パプリリ ツマニ ナド レコイ  
ビハジーラ ナ ベレク カチューシャ ナ ビソーキ ベレク ナ クルトイ

##### (2), 訳

りんごと梨の木に花が咲き、川面には霧が立ち上った。  
カチューシャは岸辺を出歩いた。高く陰しい岸辺を。

##### (3), 解説

“rastsvetali”「花が咲く」の意味の動詞“pastsvetati”の過去形複数。なお、“tsvet(ok)”は「花」の意味の名詞。“ras-”は強調を表す接頭辞。“yabloni”「りんごの木」の意味の名詞“yablonya”の複数形。なお「りんご」は“yabloko”(ヤーブラカ)。“i”「そして」。“grushi”「梨の木」の意味の“grusha”の複数形。ここでは詩のため、主語が術後の後に来ている。“poplili”「昇ってくる」「浮かんでくる」の意味の動詞“popliti”の過去形複数。“tumani”「霧」「もや」の意味の名詞“tuman”の複数形。ここでも主語が述語の後に来ている。“nad”「～の上に」の意味の前置詞。“rekoi”「川」の意味の名詞“reka”の単数形造格(nad が造格を要求する)。“vichodila”「出歩く」の意味の動詞“vichoditi”の女性単数過去形。なお、“choditi”は「歩く」という動詞で、これに接頭辞“vi”(外にと言う感じ)がついたもの。“na”「～へ(向かって)」の意味の前置詞。“bereg”「岸」の意味の男性名詞。“Katysha”女性名、「エカチェリーナ」の愛称。“visokii”「高い」の意味の形容詞。“krutoi”「陰しい」の意味の形容詞。

#### 2 番

##### (1), 歌詞

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

vihodila pesnyu zabodila, pro stepnogo sizogo orla,  
pro togo katorogo lyubila, pro togo ti pisma beregla.

カタカナで

ビハジラ ペスニュ ザバジーラ プラ ステップノバ シザバ オルラ  
プラ タバ カトラバ リュービラ プラ タバ チ ピスマ ベレクリ

(2)訳

彼女は出歩いたそして歌い始めた、ステップの青灰色の鷺のために。  
彼女が愛する人のために、手紙を大事にしている人のために。

(3)解説

“bixidila”は先にも出てきた。“pesnyu”は「歌」の意味の“pesnya”の対格で「歌を」。  
“zabodila”は「連れて行く」「始める」の意味の“zavesti”の過去女性形。“pro”は「～のために」  
という前置詞。“stepnogo”は「ステップ(草原地帯)の」という形容詞“stepnii”の生格(pro の後  
は生格)。なお、形容詞生格の“ogo”は例外的に「オバ」と発音する。“sizogo”は「青灰色の」と  
いう形容詞“sizii”の生格。“orla”は「鷺」の意味の“oryol”の生格。この場合鷺とはカチューシ  
ャの彼を指す。“togo”は「あなたのために」。“katorogo”は「～ところの」という意味の関係代  
名詞“katorii”の生格。“lyubila”は「愛する」という動詞“lyubiti”の過去女性形。“ti”は間投詞。  
“pisma”は「手紙」の意味の“pisimo”の複数形対格。“beregla”は「大事にする」の意味の動詞  
“berechi”の過去女性形。

3番

(1)歌詞

oi ti pesnya pesenka debichya, ti leti za yasnim solntsem vsled,  
i boitsu na dalinem pograniitse, ot kachushi peredai privet.

カタカナで

オイ チ ペスニャ ペセンカ デビチャ チ レチ ザ ヤスニム ソンツェム フスレト  
イ バイツー ナ ダリニム パグラリツェ アト カチューシ ペレダイ プリベート

(2)訳

ああ君歌よ生娘の歌よ、お前は輝く太陽を追いかけて飛んで行け。  
そして遠く国境の兵士のところまでカチューシャからの挨拶を運べ。

(3)解説



## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

“oi”は間投詞。“ti”は「君」の意味の代名詞。“pesnya”は前に出てきた。“pesenka”は先の“pesnya”に指小辞をつけたもので「小唄」。“debichiya”は「娘の」の意味の(物主)形容詞“debichii”の特殊変化形。“leti”は「飛んで行く」の意味の動詞“letiti”の命令形。“za”は「～まで」の意味の前置詞。“yasnim”は「明るい」の意味の形容詞“yasnii”の造格(“za”が造格要求)。“solntsem”は「太陽」の意味の名詞“solntse”の造格。なおこの単語では“l”は発音しない。“vsled”は「追いかけて」の意味の副詞。“boitsu”は「兵士」の意味の名詞“boits”の生格で「兵士に」。もちろんここで「兵士」とはカチューシャの彼のこと。“na”は「～まで」の意味の前置詞。“dalinem”は「遠い」の意味の“dalnii”の前置格(“na”が上記の意味のときは前置格を要求)。“pagranitse”は「国境」を意味する“pagranitsa”の前置格。“ot”は「～まで」の意味の前置詞で生格要求。“Kachushi”は“kachusha”の生格。ロシア語では固有名詞も格変化する。“peredai”は「運び去る」の意味の“peredati”の命令形。“privet”は「挨拶」の意味の名詞で対格(主格と同型)。

### 4番

#### (1)歌詞

pusti vspamniti devyshku prostuyu, pusti uslishit kak ana payot,  
pusti on zemlyu berejyot padnuyu, a lyubovi Kachusha sberejyot.

#### カタカナで

プスチ フスパムニート デヴシュク プロストウユ プスチ ウスリシート カク アナ パヨト  
プスチ オン ゼムリユー ベレジョート ラトヌユ ア リュボービ カチューシャ スベレジョー  
ト

#### (2)訳

彼に素直な乙女を思い出させよ、彼女が歌うのを聞かせよ。  
彼に大地と祖国を守らせよ、一方愛をカチューシャは守り抜く。

#### (3)解説

“pusti”「～させよ」「～していて欲しい」という意味の助動詞。“vspamunit”は「思い起こす」という意味の動詞“vspamniti”の三人称単数現在形。“devoshku”は「娘」の意味の名詞“devoshka”の対格で「娘を」。“prostuyu”は「素直な」の意味の形容詞“prostii”の対格。“usrishit”は「聞く」の意味の動詞“uslishiti”の三人称単数現在形。なお、これらの2つの動詞はいずれも「完了体」で、「もう～した」というニュアンス。“kak”は「～のように」の意味の副詞。“ana”は「彼女」の意味の代名詞で単数主格。“payot”は「歌う」の意味の動詞“peti”の三人称単数現在形。“on”は「彼」の意味の代名詞で単数主格。“zemlu”は「大地」の意味の名詞“zemlya”の対格で「大地を」。“berejyot”は「守る」の意味の動詞“bereti”の三人称単数現在

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

形。なお、この動詞は「未完了体」なので「今～しているところだ」のニュアンス。“radnuyu”は「生みの」「祖国の」の意味の形容詞“radnii”の対格。“a”は「ところで」「一方」の意味の接続詞。“lyubovi”は「愛」の意味の名詞の対格で「愛を」(主格と同型)。“sberejyot”はすぐ前の動詞“berejyot”と対を成す完了体動詞で「守り切る」。

---

### ステンカ・ラーズン: 逐語訳

#### (1) 歌詞

##### ・ロシア語で

- 1, Из за острова на стрежень На простор речной волны  
Выплывают расписные Острогрудые челны
- 2, На переднем Стенька Разин Обнявшись сидит с княжной  
Свадьбу новую справляет Сам веселый и хмельной
- 3, А она потупив очи Ни жива и ни мертва  
Молча слушает хмельные Атамановы слова
- 4, Позади их слышен ропот – Нас на бабу променял  
Только ночь с ней провозилс Сам наутро бабой стал. . . .
- 5, Этот ропот и насмешки Слышит грозный атаман  
И могучею рукою Обнял персиянки стан
- 6, Брови черные сошлись Надвигается гроза  
Буйной кровью налились Атамановы глаза
- 7, “Ничего не пожалею Ёуйну голову отдам” —  
Раздается голос властный По окрестным берегам
- 8, “Волга Волга мать родная Волга русская река

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

Не видала ты подарка От донского казака

9, Чтобы не было раздора Между вольными людьми  
Волга Волга мать родная На красавицу возьми”

10, Мощным взмахом поднимает Он красавицу княжну  
И за борт ее бросает В набежавшую волну

11, “Что ж вы, братцы, приуныли? Эй ты, Филька черт пляши  
Грянем песню удалую На помин ее души..”

12, Из за острова на стрежень На простор речной волны  
Выплывают расписные Острогрудые челны

・ローマ字で

1, Iz-za ostrova na strejeni, na proctor rechnoi volni,  
Viplivayut respisnie, ostrogrudie chelni.

2, Na perednem Ctenka Razin, obnyavshis' sidit s khyajnoi,  
Svad'bu novyu spravlyaet, sam veselii i khmel'noi.

3, A ona potupiv ochi, ni jiba i ni myortva,  
Molcha slyshaet khmel'nie, atamanovi slova.

4, Pozadi ikh slishen ropot: “nas na babu promenyal,”  
Tolko noch' s nei provazils', sam nautro baboi stal.

5, Etot ropot i nasmeshki, slishit groznii ataman,  
I mogucheyu rukoyu, obnyal perciyanki stan.

6, Brovi chernie soshlisya, hadvigaetsya groza,  
Buinoi krob'yu halilis, atamanovi glaza.

7, “Nichevo ne pojaleyu, buinu golovu otdam!”  
Razdaetsya golos vlnctnii, po okrestnim beregam.

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

8, Volga Volga mati rodnaya, Volga russkaya reka,  
Ne Vibala ti podarka, ot donskogo kazaka!

9, Chtobi ne bilo razdora, mejdu vol'nimi lyud'mi,  
Volga Volga mati rodnaya, na "krasavitsu voz'mi."

10, Moshshnim vzmakhom podnimaet, on krasvitsu knyajnu,  
I za bort eyo brosaet, v nabejavshuyu volnu.

11, "Chto j vi bratchi priunili?" ei ti Fil'ka chort plyashi!  
Gpyahem pesnyu udaluyu, na pomim eyo dyshi.

12, Iz-za ostrova na strejeni, na proctor rechnoi volni,  
Viplivayut respisnie, ostrogrudie chelni.

・カタカナで

1、イズザ オストローバ ナ ストレジェーニ、ナ プラストール レチュノイ バルニ  
ビプリバユート ラスピスニエ、オストラグルーージェ チェルニー

2、ナ ピレドニム ステンカ ラージン、アプニャブシシ シジート ス クニャジュノイ  
スバドブ ノーブユ スプラブラエト、サム ビセルイ イ フメリノイ

3、ア アナー パトゥピフ オチ、ニ ジバ イ ニ ミョールトバ  
モールチャ スルーシャエト フメリヒエ、アタマノビ スラバー

4、パザディ イフ スリーシェン ラポート、ナス ナ バーブ プラメニャル  
トールカ ノーチ ス ニエイ プラボジルシ、サム ナウートラ バボイ スタール

5、エータト ラポート イ ナスメーシュキ、スルシート グローズヌイ アタマン  
イ マグーチユ ルコーユ、オブニャール ペルシヤンキ スタン

6、フラビー チェルニエ サシュリーシャ、ナトビガエツァ グラザー  
ブイノイ クローブユ ナリリシ アタマノビ グラザー

7、ニチェボ ニエ パジャーレユ、ブイヌ ガラブー アトダム  
ラスダーエツァ ゴーラス ブラーストヌイ パ アクレストニム ペレガム

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

8、ボルガ ボルガ マーチ ラトナヤ、ボルガ ルースカヤ レカ  
ニェ ビダーラ トウイ パダールカ、アト ドンスコボ カザカー

9、シュトービ ニェ ブイラ ラスドーラ、ミジュドウ ポリニミ リュージミ  
ボルガ ボルガ マーチ ラトナヤ、ナ クラーサビツ ボジミ

10、モシシニム フスマホム パドニマエト、オン クラーシビツ クニャージュニユ  
イ ザ ボルト エヨー ブラサエト、フ ナビジャフシュユ バルヌー

11、シュトー ジェ ブイ ブラーチ プリウニリ、エイ トウイ フィリカ チョルト プリヤシ  
グリヤネム ペスニユ ウダルユ、ナ パミーン エヨー ドウシー

12、イズザ オストローバ ナ ストレジェーニ、ナ プラストール レチュノイ バルニ  
ビプリバユート ラスピスニエ、オストラグルーージェ チェルニー

### (2) 訳

1、島影から川の深みへと、川の広い波立つところへと、  
色彩豊かで大きく湾曲した、小舟の群れが姿を現す。

2、ボルガよ、ボルガよ、生みの母よ、ボルガよ、ロシアの川よ、  
あなたは贈り物を一瞥だにしてくれないのですか、ドン・コサックからの贈り物を。

### (3) 解説

1、“iz-za”「～の陰から」の意味の前置詞。“ostroba”「とがった物(土地)」の意味の名詞“ostrov”の単数生格(iz-za が生格を要求する)。“na”「～の方へ」の意味の前置詞。“strejeni”「川の深み」の意味の名詞。“prostor”「広々とした場所」の意味の名詞。“rechnoi”「川の」の意味の形容詞、“reka”の形容詞。“bolni”「浪」を意味する名詞“volna”の複数形。“vplivayut”「航行する」の意味の動詞“vipriti”の未完了体動詞“viprivati”の三人称単数形。“raspisnie”「色を塗った」「色彩の有る」の意味の形容詞“respisnoi”の複数形。“ostrogrudie”「とがった」を意味する“ostro-”と、「胸部の」を意味する“grudi”より、「胸部が湾曲した」の意味の形容詞と思われる(複数形)。“cherni”「丸木舟」の意味の名詞“chern”の複数形。

2、“Volga”「ボルガ川」、ロシアの母なる川の名。“mati”「お母さん」の意味の名詞。“rodnaya”「生みの親の」の意味の形容詞“radnoi”の単数女性形。なお、“roditi”は「生む」の意味の動詞で、“narod”(人民、ナロードニキ)も派生語。“ne”「～でない」の意味の否定辞。“vidala”「見

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

る」「知る」の意味の動詞”vidati”の女性形過去。”ti”「あなた」(親しげに)の意味の代名詞、主格。”padarka”「贈り物」の意味の名詞”padarok”の複数形。”ot”「～からの」の意味の前置詞。”donskogo”「ドン地方の」の意味の形容詞の生格(”ot”が生格を要求する)、生格の”ogo”は「ボ」と発音される。”kazaka”「コサック」を意味する固有名詞”kazak”の生格、ロシア語では固有名詞も格変化する。

---

### 般若心経

#### 1、漢訳(三蔵玄奘による)

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時、  
照見五蘊皆空、度一切苦厄。舍利子。  
色不異空、空不異色、色即是空、空即是色。  
受・想・行・識亦復如是。舍利子。  
是諸法空相、不生不滅、不垢不淨、不增不減。  
是故空中、無色、無受・想・行・識、  
無眼・耳・鼻・舌・身・意、  
無色・声・香・味・触・法。  
無眼界、乃至、無意識界。  
無無明、亦無無明盡、乃至、無老死、亦無老死盡。  
無苦・集・滅・道。無智亦無得。以無所得故、  
菩提薩埵、依般若波羅蜜多故、心無罣礙、無罣礙故、無有恐怖、  
遠離一切顛倒夢想、究竟涅槃。  
三世諸仏、依般若波羅蜜多故、得阿耨多羅三藐三菩提。  
故知、般若波羅蜜多、是大神呪、是大明呪、是無上呪、是無等等呪、  
能除一切苦、真實不虛。故説、般若波羅蜜多呪。即説呪曰、  
羯諦羯諦波羅羯諦波羅僧羯諦菩提薩婆訶。  
般若心経

#### 2、サンスクリット(梵語)原文

Aryavalokitesvaro bodhisattvo gambhirayam prajna paramitayam caryam caramano  
vyavalikayati sma; panca skandhas, tams ca svabhava- sunyan pasyati sma.  
iha Sariputra rupam sunyata, sunyataiva rupam. rupan na prthak sunyata, sunyataya na prthag



## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

rupam. yad rupam sa synyata, ya sunyata tad rupam. evam eva vedhana- samjna- samskara- vijinani

iha Sariputra sarva- dharma sunyata- laksana anutpanna aniruddha amalavimala nona na paripurnah. tasmac chariputra sunyatayam na rupam na vedhana na samjna na samskara na vijnanam na caksuh- srotra- ghrana- jihva- kaya- manamsi, na rupa- sabda- gandha- rasa- sprastavya- dharmah, na caksur- dhartu yavan na mano- vijana- dhatuh.

na vidya navidya na vidyaksayo navidyaksayo yavan na jaramaranam na jaramaranaksayo na dukha- samudaya- nirodha- marga, na jnanam na pratih

tasmad apraptitvad bodhisattvam prajna paramitam asritya viharaty a- cittavarana- cittavarana- nastitvad atrasto viparyasatikranto nisthanirvanah. tryadhvavyavasthitah sarva- buddhah prajna paramitam asrityanuttaram samyak sam bodhim abhisaambuddha

tasmaj jnatavyam prajna paramita- mahamantoro mahavidyamantro anuttaramantro samsama- mantra, sarva dukha prasamanah. satyam amithyatvat prajna paramitayam ukto mantra tadyatha:

gate gate paragate para- samgate bodhi svaha

### 3、漢訳の読み方

かんじざいぼさつ ぎょうしんはんにやはらみたじ  
しょうけんごうんかいこう どいつさいくやく しゃりし  
しきふいく ぐふいしき しきそくぜく ぐそくぜしき  
じゅそうぎょうしき やくぶによぜ しゃりし  
ぜしよほうくそう ふしょうふめつ ふくふじょう ふぞうふげん  
ぜこくうちゅう むしき むじゅそうぎょうしき  
むげんにびぜつしんに むしきしょうこうみそくほう  
むげんかい ないし むいしきかい  
むむみょう やくむむみょうじん ないし むろうし やくむろうしじん  
むくしゅうめつどう むちやくむとく いむしょとくこ  
ぼだいさった えはんにやはらみたこ しんむけいげ  
むけいげこ むうくふ  
おんり いっさい てんとうむそう くきょう ねはん  
さんせしよぶつ えはんにやはらみたこ とくあのかたらさんみやくさんぼだい  
こち はんにやはらみた ぜだいじんしゅ ぜだいみょうしゅ  
ぜむじょうしゅ ぜむととうしゅ  
のうじょ いっさいく しんじつ ふこ  
こせつ はんにやはらみたしゅ そくせつしゅわつ  
ぎゃーてー ぎゃーてー はら ぎゃーてー

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

はらそうぎゃーてー ぼーじー そわかー

### 4、大意

観音菩薩である仏様が深く般若波羅蜜の彼岸の知恵を求道していた時に、  
五つの「大切なもの」が実は空であると正しく見抜いて一切の苦厄から脱却されたのだよ、舎利子君。

つまり物質は空に異ならず、また空は物質と異ならず、物質は即ち空であり空であるからこそ物質なのだよ、舎利子君。

即ち諸々の法則はすべて空であり、生ぜず滅せず、穢れず清からず、増えず減らず  
それ故に空の中身とは実は物も無く、受想行識と言った感覚や思いも無く、  
眼耳鼻舌身意といった感覚器官も無く、色声香味触法といった感覚の結果も無く、無い無い  
尽くしなのだよ。

言い換えると見えるものは無く、そしてずっと無くて、意識に至るまで無いのだよ。  
見えるものどころか見えない状態すらないのだから、無明が尽きると言うこともない、  
それからずっとなくて老死すらないのだから、老死が尽きると言うことすらも概念できないのだ  
よ。

苦集滅道という苦しみに至るプロセスも無く、知ることも無いし得ることも無い。所有すると言  
うことが無いからだ。

菩薩であるブッダは、般若波羅蜜という悟りの境地に依ったため心に曇りが無い。  
曇りが無いから物事を恐れると言うことがない。

誤った考えを一切退けて、涅槃の心の揺るがない平安の境地に行き着いた。

過去、現在、未来の仏たちも般若波羅蜜という悟りの知恵に依るから

この上なく正しく目覚め最高の菩提の求道をする。

だから知りなさい、般若波羅蜜は大きな真言でありまばゆい真言であり、この上ない真言であ  
り、並び称されるものの無い真言なのだ。

一切の苦しみを取り除くことが出来て、混じりけの無い真実そのものだ。

さあだから般若波羅蜜の真言(マントラ)を唱えよう。

「行きなさい、行きなさい、彼岸の悟りの境地に渡りなさい。

知恵の道を求める者に幸あれ。」

### 5、逐語的解説

(追而)

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

逐語訳: 神の御子は今宵しも(アデステ・フィデレス)

アデステ・フィデレス(器楽)

(1),歌詞

Adeste fideles laeti triumphantes,  
Venite, venite in Bethlehem.  
Natum videte Regem angelorum.  
Venite adoremus (ter)  
Dominum.

Cantet nunc 'Io', chorus angelorum;  
Cantet nunc aula caelestium,  
Gloria! Gloria in excelsis Deo!  
Venite adoremus (ter)  
Dominum.

Ergo qui natus die hodierna.  
Jesu, tibi sit gloria,  
Patris aeterni Verbum caro factum.  
Venite adoremus (ter)  
Dominum.

カタカナで  
アデステ フィデレス レティ トリアンファンテス  
ベニテ ベニテ イン ベツレヘム  
ナトゥム ビデテ レゲム アンゲロルム  
ベニテ アドレムス(3) ドミヌム

カンテト ヌンク イオ コーラス アンゲロルム  
カンテト ヌンク オラ セレスティウム  
グロリア グロリア イン エクセルシス デオ  
ベニテ アドレムス(3) ドミヌム

エルゴ キ ナトゥス ディー ホディエルナ

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

イエス ティビ シト グロリア  
パトリス エテルニ ベルブム カロ ファクトウス  
ベニテ アドレムス(3) ドミヌム

### (2)訳

まさにその信仰深き人々、勝利に歓喜する人々よ、  
ベツレヘムに来なさい。  
生まれた嬰兒を、天使たちの王を見なさい。  
来なさい、そして主をあがめようではないか。

さあ、今こそ歌いなさい、天使たちのコーラスを、  
今こそ天上の庭で歌いなさい。  
いと高き神に栄光あれ、栄光あれ。  
来なさい、そして主をあがめようではないか。

このようにして今日の日に生まれ給うた、  
イエスさま、あなたに栄光が与えられる、  
永遠の父の言葉は肉となって現れる。  
来なさい、そして主をあがめようではないか。

### (3)解説

"adeste"<"adeo"「まさに」「その」。「fideles」<"fidelis"「信仰深い」複数主格。「laeti」「歓喜して」複数主格。「triumphantes」<"triumphantis"「勝利に満ちた」複数主格。「venite」<"venio"「来なさい」:「来る」の命令形。「in」「～に」前置詞。「Bethlehem」「ベツレヘム」地名。「natum」<"natus"「生まれた子」対格:「嬰兒を」。「videte」<"video"「見なさい」:「見る」の命令形。「regem」<"rex"「王」の対格:「王を」不規則変化。「angelorum」<"angel"「天使」の複数属格:「天使たちの」。「adremus」<"adreo"「私たちは崇める」「さあ崇めよう」複数一人称。「dominum」<"dominus"「主」対格:「主を」。

"cantet"<"cano"「歌う」の命令形:「歌いなさい」。「nunc」「今」。「io」「さあ」間投詞。「chorus」「コーラス」「合唱隊」。「aula」「庭」主格。「celestium」<"celestis"「天」属格:「天の」。「gloria」「栄光」。「excelsis」<"excelsus"「優れた」「いと高き」与格:「いと高き方に」。「Deo」<"deus"「神」与格:「神に」。

"ergo"「かくして」。「qui」「その」関係代名詞、主格。「natus」「生まれた」形容詞。「die」<"dies"「日」。「hodierna」<"hodiernus"「今日の」女性形。「Jesu」「イエスさん」。

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

“tibi”<“tu”「あなた」与格:「あなたに」。“sit”<“situs”「置かれた」。“Patris”<“pater”「父」属格:「天の父の」。“aeterni”<“aeternus”「永遠の」属格。“verbum”「言葉」主格。“caro”「肉」。“factus”<“facio”「作る」「成る」。

---

### 逐語訳:野バラ

#### 野バラ(器楽)

##### (1)歌詞

Sah ein Knab ein Röslein stehn, Röslein auf der Heiden,  
War so jung und morgenschön, Lief er schnell, es nah zu sehn,  
Sah's mit vielen Freuden. Röslein, Röslein, Röslein rot,  
Röslein auf der Heiden.

##### カタカナで

ザー アイン クナーベ アイン レーズライン シュテーエン  
レーズライン アウフ デル ハイデン  
パール ゾー ユンク ウント モルゲンシェーン  
リーフ エル シュネル エス ナー ツー ゼーン  
ザース ミット フィーレン フロインデン  
レーズライン(3) ロット  
レーズライン アウフ デル ハイデン

##### (2)訳

一人の少年が一輪の小さなバラが立っているのを見た  
荒野の小さなバラだ  
それはとても若くて、朝日の美しさだった  
彼はそれを近くで見るために素早く走った  
大きな喜びを持ってそれを見た  
真っ赤な小さなバラよ！  
荒野の小さなバラよ

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

### (3)解説

"sah"(eng:saw)＜sehen「見る」の過去形。"ein"(eng:a)不定冠詞「1つの」。「Knabe」「男の子」。「Röslein」＜"rose"+"lein"「小さなバラ」。「stehen"(eng:stand)「(立って)いる」。「auf"(eng:on)前置詞「上に」。「der"(eng:the)定冠詞「その」。「Heide"(eng:heath)「荒野」。「war"(eng:was)＜sein(eng:be)「である」の過去形。「so"(eng:so)副詞「そのように」。「jung"(eng:young)「若い」。「und"(eng:and)接続詞「そして」。「morgen"(eng:morning)朝。「schön"「美しい」。「lief"＜"laufen"(eng:leap)「走る」。「er"(eng:he)「彼は」。「schnell"「早く」。「es"(eng:it)「それを」。「nah"(eng:near)「近くで」。「zu"(eng:to)前置詞「～するために」。「sehen"「見る」。「mit"(eng:with)前置詞「～と共に」「～を持って」。「viel"「たくさんの」。「Freund"「喜び」。「rot"(eng:red)「赤い」。

---

## 逐語訳:ローレライ

### ローレライ(器楽)

#### (1)歌詞

Ich weiß nicht, was soll es bedeuten,  
Daß ich so traurig bin,  
Ein Märchen aus uralten Zeiten,  
Das kommt mir nicht aus dem Sinn.  
Die Luft ist kühl und es dunkelt,  
Und ruhig fließt der Rhein;  
Der Gipfel des Berges funkelt,  
Im Abendsonnenschein.

#### カタカナで

イッヒ ヴァイス ニヒト ヴァス ゴル エス ベドイテン  
ダス イッヒ ゴー トラウリッヒ ビン  
アイン メルヒエン アウス ウアルテン ツァイテン  
ダス コムト ミヤ ニヒト アウス デム ジン



## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

ディ ルフト イスト キュール ウント エス デュンケルト  
ウント ルーイッヒ フリースト デア ライン  
デア ギプフェル デス ベルゲス フンケルト  
イム アーベント ゾンネンシャイン

### (2)訳

私はその意味するところが分からない、  
なぜ私がこんなに悲しいのか。  
昔からの言い伝え、  
それは私の心に沈着している。

空気は涼しくそして当たりは暗くなり、  
そして静けさがライン川を流れていく。  
山々の頂上が光っている、  
夕方の日の光とともに。

### (3)解説

“ich”(eng :I)人称代名詞、主格、「私は」。“weiß”<“wissen”(eng:wit)動詞「知る」の1人称。  
“nicht”(eng:not) ~でない。“was”(eng:what)疑問詞、「何を」。“soll”<“sollen”(eng:shall, should)助動詞、3人称、「べきだ」。“es”(eng:it)「それが」。“bedeuten” 動詞、原形、「意味する」。“daß”(eng:that)間接話法、「～と言う」es.. daß”。“so”(eng:so) 副詞、「そんなに」。  
“traurig” 形容詞、「悲しい」。“bin”(eng :be,is) 動詞、「～である」。“ein”(eng :a,one) 不定冠詞、(1つの)。“Märchen” 「おとぎ話」「メルヘン」。“aus”(eng :out of)前置詞、「～から」。  
“alt”(eng:old) 形容詞、「古い」「昔の」。“ur”(eng:ultra) 接頭辞、「とっても」。  
“Zeit”(eng:time,tide) 「時」。“das”(eng:that) 関係代名詞、「～言うことが」。“kommt”<“kommen”(eng:come) 動詞、「来る」。“mir” 代名詞、「私に」。“dem”<“der”(eng:the) 定冠詞、男性・中性の3格「それへ」。“Sinn” 名詞、「意識」。“auskommen” 動詞、「外に来る」。“die” 定冠詞、女性1格。“Luft” 「空気」。“ist”(eng:is) 動詞、「～である」、3人称。  
“kühl” (eng:cool) 形容詞、「涼しい」。“und”(eng:and) 接続詞、「そして」。“dunkelt”<“dunkeln”(eng:darken) 動詞、「暗くなる」、3人称。“flieBt”<“fließen”(eng:flow,fleet) 動詞、「流れる」。“Rhein” 「ライン川」。“Gipfel” 「頂上」。“Berg”(eng:berg) 「山」。“funkelt”<“funkeln” 動詞、「きらめく」。“im” 前置詞、「～とともに」。“Abend” 名詞、「夕方」。“Sonnen”(eng:sun) 名詞、「太陽」。“Schein”(eng:shine) 名詞、「輝き」。

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

### 逐語訳:ドミニク

#### ドミニク(器楽)

##### (1),歌詞

Dominique, nique, nique  
S'en allait tout simplement,  
Routier, pauvre et chantant  
En tous chemins, en tous lieux,  
Il ne parle que du Bon Dieu,  
Il ne parle que du Bon Dieu.

A l'époque où Jean Sans Terre,  
D'Angleterre était le roi  
Dominique notre père,  
Combattit les albigeois.

##### カタカナで

ドミニク ニクニク サン アレ トゥー サンプルモン  
ルティエ ポーボレ エ シャンタン  
アン トゥー シュマン アン トゥー リュー  
イル ヌ パルル ク デュ ボン デュー(2)

ア レポック ウ ジャン サン テール  
ダングレテール エテ ル ロワ  
ドミニク ノートル ペール コンバッティ  
レ ザルビジョワ

##### (2)訳

聖ドメニコは全く質素に進んでいった、  
道なりに、貧しく、歌いながら。  
全ての道で、全ての場所で、  
彼は素晴らしい神様のことしか語らなかった。

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

英国で失地王のジョンが王様だった時に、  
私たちの教父の聖ドメニコはアルビジョワ派と闘っていた。

### (3)解説

“Dominique”人名。聖ドメニコ、ドメニコ修道会の創始者。“s'en allait”<“aller”「行く」の再帰形単純過去で、「進んでいった」。“tout”全部、全く。“simplement”単純に。“routier”「道なりに」。“pauvre”「貧しい」。“et”接続詞、「と」。“chantant”<“chanter”「歌う」の現在分子形で「歌いながら」。“en”前置詞、「～の中で」。“chemin”「道」。“lieu”「場所」。“il”代名詞、彼。“ne que”「～しか～しない」。“paele”<“parler”「話す」の3人称。“de”前置詞だがここでは部分を示す冠詞で、「～について」。“bon”「良い」。“dieu”「神」。“a”前置詞、「～において」。“le”定冠詞、「その」。“époque”「時代」。“où”場所及び時間をかける関係代名詞。“Jean”人名、ジョン、英国の王。“sans”前置詞、「～がない」。“terre”土地。“Angreterre”英国、イギリス。“etait”<“etre”「～である」の単純過去、「～であつた」。“roi”王。“notre”私たちの。“pere”父、この場合は神父。“combattit”<“conbattre”「闘う」の単純過去。“Albigois”アルビジョア派、異端派。

---

## 逐語訳:クレメンタイン

### クレメンタイン(器楽)

#### (1)歌詞

In a cavern, in a canyon,  
Excavating for a mine,  
Dwelt a miner, forty-niner,  
And his daughter Clementine.

#### Refrain:

Oh my darling, oh my darling,  
Oh my darling Clementine  
You are lost and gone forever,  
Dreadful sorry, Clementine.

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

カタカナで

インナ キャーバン インナ キャニオン  
イクスカベイティング フォアラ マイ  
ドウウェルト ア マイナー フォーティナイナー  
アンド ヒズ ドーター クレメンタイン

オー マイ ダーリン(3) クレメンタイン  
ユー アー ロスト アンド ゴーン フォーレバー  
ドレッドフル ソーリー クレメンタイン

### (2)訳

洞穴で峡谷で鉱石を掘りながら、  
49年組の鉱夫とその娘クレメンタインが住んでいた。

ああ、私の愛しいクレメンタイン、  
あなたは失踪して永遠に去ってしまった、本当に残念だよクレメンタイン。

### (3)解説

“cavern”洞穴。“canyon”峡谷。“excavate”掘る。“mine”鉱石。“dwelt”<“dwell”「住む」の過去形。“miner”鉱夫。“forty-niner”(49年組)1849年にカリフォルニアで金鉱が発見されてゴールドラッシュになり大勢の人々が押し寄せた、その掘りに来た人々のこと。“daughter”娘。“Clementine”(女性の名)。“darling”愛(いと)しい。“lost”居なくなる。“gone”<“go”「行く」の過去分詞。“forever”永遠に。“dreadful”恐ろしく。“sorry”残念な。

---

## 朝日楼(朝日のあたる家)

朝日楼(器楽)

### (1)日本語の歌詞

私が着いたのはニューオーリンズの  
朝日楼という名の女郎屋だった

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

愛した男が帰らなかった  
あん時私は故郷を出たのさ  
汽車に乗ってまた汽車に乗って  
貧しい私に変わりはないが  
時々想うのふるさとの  
あのポラットホームの薄暗さ

誰か言っとくれ妹に  
こんなになったらおしまいだってね

私が着いたのはニューオーリンズの  
朝日楼という名の女郎屋だった

### (2)英語の歌詞(House of the rising sun)

There is a house down in New Orleans  
They call the risin sun.  
Its been the ruin of many a poor girl  
And me, oh God, I'm one.

My mother was a tailor  
She sewed these new blue jeans  
My sweetheart was a gambler  
Down in New Orleans.

Now the only thing a gambler needs  
Is a suitcase and a trunk  
And the only time hes satisfied  
Is when hes on a drunk.

### (3)解説

日本では浅川マキ等がカバーしてヒットした、大変退廃的な歌です。元歌は歌詞に「ニューオーリンズ」(ヌーベルオルレアン)と出てくることから クレオール(ケージャン)系で、英仏の伝統に黒人霊歌の要素が混じっているように 感じます。ガーシュウインの曲にも感じが似て

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

いますよね。曲の上では、ファで始まる短調であることと、1音階アップダウンのような 高低差が見られますが、これだけではこの曲がなぜこうまで退廃的になるのか、十分に解明できません。

---

### 逐語訳:フリックナ・デ・スモー(小さなお嬢さん)

#### フリックナ・デ・スモー(器楽)

##### (1)歌詞

Flickorna de små uti ringen de gå,  
de tänka just som så,  
en vän jag kunde få,  
och om du vill bli allra kärastes min  
så bjuder jag dig att i dansen, träda in.

##### カタカナで

フリックナ デ スモー ウティ リンゲン デ ゴー  
デ テンカ シュスト ソム ソー  
エン ヴェン ヤー クンデ フォー  
オ オム ドウ ヴィル ブリ アルラ シェラステス ミン  
ソー ビューデ ヤー ディグ アット イ ダンセン トレーダ イン

##### (2)訳

小さなお嬢さんたちは踊りの輪の中で進んでいく。  
彼女らがまさにそう思うように。  
私が獲得できた友人だと。  
そしてもし君が私の最愛の人になりたいならば、  
私は君を踊りに招待する、さあ加わりなさい。

##### (3)解説

“flickorna” < “flicka” 「娘さん」 + “or” (複数) + “na” (eng:the) (定冠詞)。スウェーデン語では定冠詞は単語の語尾に膠着する。“de” (eng:they) 「彼らは」。“små” (eng:small) 「小さい」。

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

"uti"="ut(eng:out)+"i"(eng:in)「中へ」。“ringen”<“ring”(eng:ring)「(踊りの)輪」+“en”(eng:the)(定冠詞)。“gå”(eng:go,deut:gehen)「行く」。“tänka”(eng:think,deut:denken)「思う」「考える」。“just”(eng:just)「ちょうど」。“som”「～のように」。“så”(eng:so)「そう」。“en”(eng:a,deut:ein)(不定冠詞)「1つの」。“vän”「友達」。“jag”(eng:I,deut:ich)「私が」。“kunde”<“kan”(eng:can,deut:können)「できる」の過去形。“få”「得る」。“och”(eng:and,deut:und)「そして」。“om”「もし」。“du”(eng:you,deut:du)「君が」。“vill”<“vilja”(eng:will,deut:wollen)「したい」。“bli”(eng:be)「～である」「～になる」。“allra”「全ての」「全く」。“kärastes”<“kära”「いとしい(人)」の最上級。“min”(eng:my,deut:mein)「私の」。“bjuder”「招待する」「導く」。“dig”「君を」。“att”「～へ」。“dansen”<“dans”(eng:dance,deut:tanz)「踊り」+“en”(定冠詞)。“träda in”<“inträda”「入る」「加入する」(分離可能動詞につき、特に口語ではドイツ語のように接頭辞が分離して後続する)。

---

### 逐語訳: 玫瑰花开了(バラが咲いた)

玫瑰花开了(バラが咲いた)(器楽)

(1),歌詞

玫瑰花开了, 玫瑰花开了鲜红的玫瑰花,

在我那寂寞的小院子草地上, 开着一朵玫瑰花。

这一朵玫瑰, 盛开的玫瑰, 小小是玫瑰花,

使我那寂寞的小院子里面呀, 充满阳光亮堂堂。

玫瑰呀, 玫瑰呀, 小小的玫瑰花,

永远就这样, 就在这小院子里永开放。



## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

玫瑰花开了, 玫瑰花开了, 鲜红的玫瑰花,

在我那寂寞的小院子草地上, 开着一朵玫瑰花。

カタカナで

メイグイファ カイル メイグイファ カイル シェンホンディ メイグイファ  
ツァイウオナ ジモーディ シャオユアンチ シャオディシャン カイツェ イドウオ メイグイファ  
ゼイドウオ メイグイ シャンカイディ メイグイ シャオシャオディ メイグイファ  
シウオナ ジモーディ シャオユアンチ リミエン チョンマン ヤングァン リヤンタンタン

メイグイヤー メイグイヤー シャオシャオディ メイグイファ ヨンユアン チウゼーヤン  
ジウツァイナ シャオユアン ツイーリー ヨンカイファン

(2)訳

バラが咲いた、バラが咲いた、真っ赤なバラが  
私の寂しい庭の芝生の上で、一輪のバラが咲いている。  
この一輪のバラは、満開のバラは、とても小さなバラは、  
私の寂しい小さな庭の中を、日光が満ちて煌煌と明るくしています。

バラよ、バラよ、とても小さなバラの花、永遠に今のままで、  
私の小さな庭の中で、あくまで永遠に開いていてね。

(3)解説

玫瑰花: バラの花、ハマナスの花。开了: 開いた。开は開の簡体字、了は完了形。鲜红: 真  
っ赤。的: 接続詞、～な、～の。在: 前置詞、～で。我那: 私、那は「これ」程度の意味。寂  
寞: 寂しい。小: 小さな。院子: 庭。草地: 芝生。上: 上に。开着: 開いている、着は持続の  
助詞で「している」。一朵: 一条の、ひと固まりの。这: 這の簡体字、これ。盛: 盛んに。是:  
これです。使: 助動詞、させる。里面: 内側。呀: 間投詞、ああ。充满: 満ちる。阳光: 陽光  
の簡体字、日の光。亮堂堂: 煌煌と。亮は「明るい」の意味。永远: 永遠に、いつまでも、远

は遠の簡体字。就:副詞、あくまで。样:様の簡体字、様子。永:永遠に。开放:開いている。

---

### 新撰組の唄

#### 一、番組主題歌新撰組の唄(MIDI,MP3)(原盤より)

この記事を書かせてすぐ後(平成15年ころ)、  
作詞を担当した牧房雄さんのご息様からメールをいただきました。  
当時、文京区湯島にある出版社「科学技術社」の役員をされていました。  
大変懐かしがっていただき、お父上の逸話などを頂きました。  
日本著作権協会の理事などを歴任されたそうです。

エクセン(株)の林秀一社長の勇氣ある行動により掘り起こすことができました。

「新撰組の唄」TBS番組「新選組始末記」より

牧房雄 作詞 船越隆司 作編曲 三橋美智也 歌

#### ◆配役

近藤 勇 平幹二郎【主演】 土方歳三 古谷一行 沖田総司 草刈正雄 芹沢 鴨 高松  
英郎 等

♪ 葵の花に吹く 時代の嵐 乱れて騒ぐ京の空 誠の旗に集いつつ 誓うつるぎわ  
あ～ 雲を切る

♪ いばらを踏み越えて 大義の二字に 憂いて進む道一つ 今宵も加茂の水  
荒れて～ 夢は破れえる～ 小夜千鳥  
く

♪ ほづつ(砲筒)に草は燃え 三百年のお 武運は空し鳥羽伏見 夜明けを前  
にい散り惑う～ 壬生のつわもの どこへゆく～

## 世界の歌詞の逐語訳(無爆)

演奏新撰組の唄(三橋美智也)

上のスタートボタンを押すと「新撰組の歌」のメロディーが流れます(レコード原盤より)。

---

### やりたいな(学生歌)

やりたいな(器楽)

歌詞

- 1、ちんからかんから 学校サボって 女子高に行けば  
かわいいあの子が横目でにらむ。  
(ここ以下のみ変わる)  
やりたいな(2) やりたい(3) やりたいな  
かわいいあの子と 勉強やりたいな
  - 2、乗りたいな(2) 乗りたい(3) 乗りたいな  
かわいいあの子と ボートに乗りたいな
  - 3、刺したいな(3) 刺したい(3) 刺したいな  
かわいいあの子と 将棋を指したいな
  - 4、はめたいな(2) はめたい(3) はめたいな  
かわいいあの子と 指輪をはめたいな
- 

以上です。